



部活動を通じた生徒の主体性を育む 「ウェルネスサイクル」モデル構築事業

一般財団法人 渋谷区スポーツ協会

目的とアウトカム

【目的】

生徒一人ひとりが主体的に活躍できる 新たな部活動モデルを構築する

- ① 個別の成長を科学的に計測・分析・処方する「ウェルネスサイクル」モデルを構築する
- ② 渋谷区公立中学校でプロジェクトを実行し、生徒の主体性の変化を検証する

アウトカム

- 部活動の「ウェルネスサイクル」モデルの計画、実施のプロセスにおける促進要因、阻害要因が明らかになる
- モデルの波及、推進に向けたさらなる課題と、それを解決するための示唆を得る

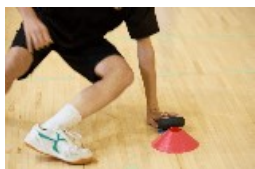
青地＝現在の取組 赤字＝本事業での新たな取組

総合的なモデル構築

●体力に関する計測



パワー



スピード



アジリティ

反応速度

身長／体重／座高

①測定

②分析

ウェルネス
サイクル

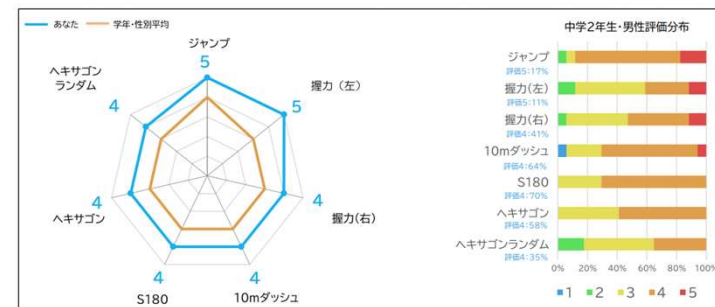
③処方

●主体性を捉える質問紙票（参考①）

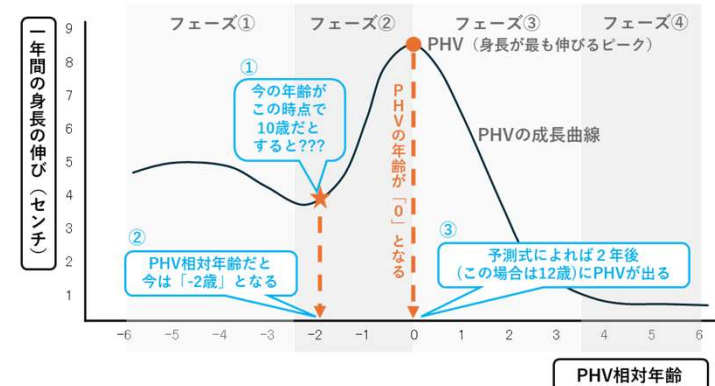
●指導者のウェルビーイングを捉える質問紙票

- フィードバックシートの配布
- 体力に合わせたトレーニング動画
- 指導者・保護者への講習会（参考③）
- 生徒自身による目標設定サポート（参考④）

●体力の相対的評価



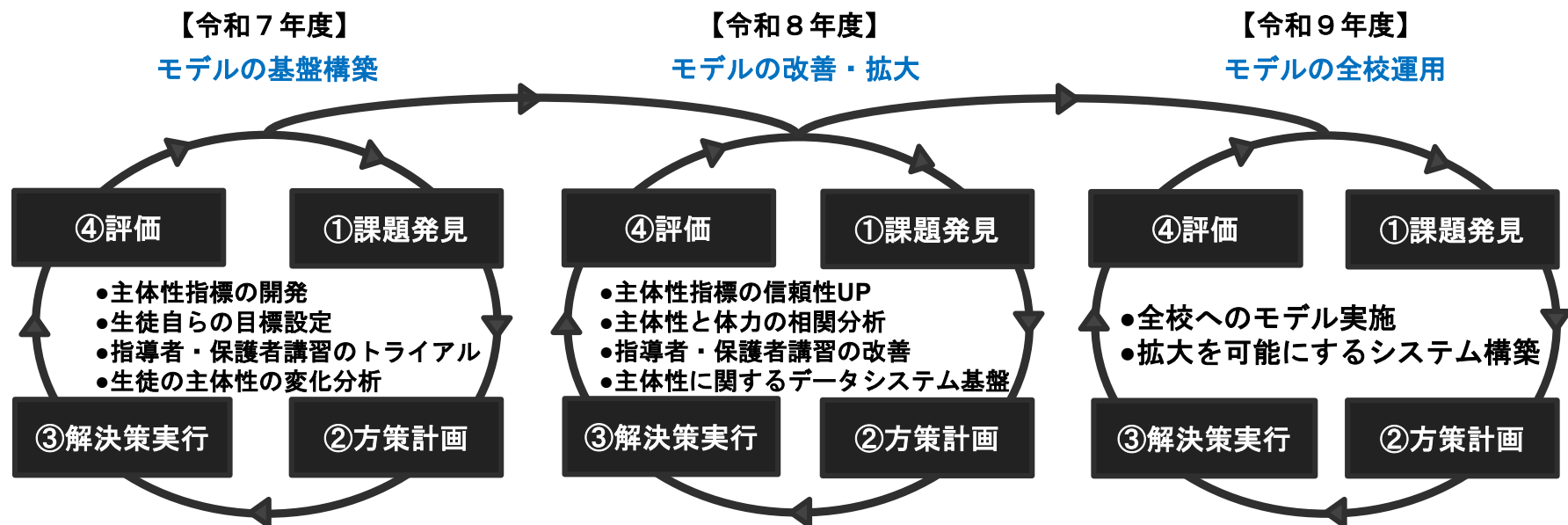
●PHV（身長の高成長速度）の算出



- 主体性の量的分析（参考②）
- 主体性と体力の相関分析
- 指導者の活動観察

3 年間のプロセス

事業の推進にあたっては①課題発見⇒②方策計画⇒③解決策実行⇒④評価とつねに改善する循環をつくる



PMとしての
スポーツ協会の役割

- プロジェクトのディレクション
- 進行管理
- 行政・学校関係者との調整
- 学術機関・専門家との調整